

◇研究発表 I 10:00~11:00

①ア	豊かな感性を育てる教育 ~細呂木小「朝鑑賞」の挑戦~ 牧井 正人／細呂木小学校
学校経営	本年度、本校では「豊かな感性を育てる教育」を柱とし、その一環として全校で「朝鑑賞」を実施しています。「朝鑑賞」では、目指す児童像「かんじの子」「つたえる子」「うけとめる子」を掲げ、鑑賞活動を通して、主体的に学び、仲間と対話し、深く学ぼうとする姿を目指しています。この「朝鑑賞」の学びが、「考える力」「伝える力」等を育み、他教科や道徳への学びへとつながることを期待しています。今回は、その中間報告を発表します。
①イ	協働的・組織的な校内研究を目指して 前田 朋子／明倫中学校
校内研究	本校は平成29年度から「主体的・対話的で深い学び」研究発表会を行っています。研究発表会の公開授業に向けて、教員一人一人の授業力向上を図ることが「主体的・対話的で深い学び」の実現につながると考えています。そのために、本校の強みを生かした、協働的・組織的な取組をしたいと考えました。若手教員の育成など、どのような視点で校内研究を進め、どのような取組をしたのかについて発表します。
①ウ	高校における通級指導の現状 ~卒業後の自立に向けた支援とその取り組み~ 福田 洋香／奥越特別支援学校 石津 麻美／福井東特別支援学校
通級指導	昨年度より、高等学校に『通級による指導』が制度化され導入されました。福井県では6校からスタートし、特別支援教育における自立活動を生かした内容を、普通科・職業科、定時制において実践しています。本発表では、高校通級への着手と現状について報告します。
①エ	ピア・サポート活動を意識した授業(音楽)・行事の実践 橋本 一恵／坂井中学校 塚田 孝子／教育総合研究所
音楽特別活動	本校では、数年前からピア・サポートの実践を行っています。一昨年度からは、音楽の授業でも、「安心して、楽しく歌える雰囲気づくり」のためのピア・サポートを意識した活動を取り入れています。授業から、合唱コンクールや卒業式へとつなげていった実践を報告します。
①オ	羽水高校PBLの現状と課題 ISN事務局／羽水高校 朝倉智子、吉田英史／教育総合研究所
PBL	今年度からの「総合的な探究の時間」実施に先行し、昨年度から6校と教育総合研究所が協働して課題解決型モデル開発に取り組んでいます。その中の1校である羽水高校が取り組んできたこれまでの実践の成果と課題について発表します。
①カ	学校に寄り添ったSASAを目指して ハウカ佐由里、栗原 忍、谷川 美紀／教育総合研究所
SASA	今年度のSASA2019は「学校に寄り添ったSASAを目指して」をコンセプトとし、システム面や問題作成において大きな改革をしました。新しく取り入れた子どもたちによる自己採点の意義や、「調査のポイント」作成の意図、また、解答用紙から見えることの検証、質問紙と学習状況調査との関連を分析し、発表します。
①キ	サイエンスラボにおける生物分野の活動について 上中 一司／教育総合研究所
科学的思考力	サイエンスラボでは、高校生を対象として行う講座を実施しています。最前線で活躍する研究者から指導を受け、本物の科学技術や研究に触れるiPS細胞講座など生物分野におけるサイエンスラボの高度な実験機器や装置を活用して科学的な思考力が高めるアドバンス講座の取り組みについて紹介します。
①ク	小学校における学校マネジメント マネジメント研修受講者3名、小島 真弓／教育総合研究所
マネジメント	「チーム学校」「社会に開かれた教育課程の実現」「働き方改革」のために、より効果的・効率的に学校教育活動を展開していくことが急務になっています。そのための「学校組織マネジメント」と「カリキュラム・マネジメント」。スクールプランの実現に向けて、マネジメントの視点で勤務校の実態を分析し、それを基に立案した具体的なマネジメント実践プランについて、現在各学校で取り組んでいることを発表し、実践型研修の有効性を提案します。

◇教育博物館案内 12:50~13:35

福井の教育の歴史や教科書の変遷などの常設展示や、開催中の特別展示「あこのころ出逢った唱歌と童謡~懐かしの音楽教科書~」を紹介します。

◇研究発表 II 13:45~14:45

②ア	協働探究サイクルが生み出す子どもの学びをとらえる ~全教科・領域で培う資質・能力~ 柳 博恵、柳本一休／福井大学教育学部附属義務教育学校
協働探究	本校は、自立、協働、貢献という3つの資質を育成することを目指して「主題・探究・表現」型の授業づくりと9年間の協働探究カリキュラムの構築を進めています。併せて、教師のコミュニティについても、どのような研究のリズムや体制が必要なのかを実践しながら構築しているところです。教務主任が研究企画のメンバーに加わり、教師の協働研究を支えています。研究発表の際には、ぜひ参加される方々とそれぞれの専門的なお立場から御助言と御指導をいただきたいと思ひます。
②イ	新科目「歴史総合」「世界史探究」を切り拓く授業開発とシンポジウム 谷口 康治／丹生高校
地歴	新しい科目「歴史総合」「世界史探究」について、ふるさとの教材の収集やICT活用、生徒を主体とした「問いを立てる力」の育成、概念的知識の獲得を軸にしながら、学校の異なる若手教員6名とともに授業開発を行い、授業設計力を伸ばしてきました。また、新科目に関するシンポジウムを中学教員や他都県の教員を招いて実施し、新科目の可能性と課題を見いだしました。本発表では、2年間、高校世界史授業開発グループが取り組んだこれらの実践を報告します。
②ウ	「自立的な活動」を高校で豊かに展開するために ~通級と学校設定科目の共同実践~ 酒井 武裕、長谷川浩昭、澤田 和代／大野高校 福田 洋香／奥越特別支援学校
自立活動	昨年度から通級指導が高校に導入されました。大野高校定時制では、通級導入の2年前から自立活動の研究を開始し、自立活動の対象を制限することなく実施できる学校設定科目「生活と職業I」を通級指導の開始とともに実施しています。通級と「生活と職業I」と連携した実践も含め、本校の自立活動について報告します。
②エ	やる気・元気・教師力up de わかてcafe 池田 柚衣／清水西小学校 長谷川 侑来／三国中学校 笠原 千裕／三国南小学校 富田 雅人／教育総合研究所 教師力向上のための実践研究 ~経済同友会との交流を通して~ 三津谷智士／坂井高校 吉川 誉／武生商業高校 宮崎 素直／敦賀工業高校 富田 雅人／教育総合研究所
若手自主サークル	異なる学校の若手教員が集まり、お互いの日々の実践について語り合ったり、県内外の授業研究会や経済界との交流事業などに積極的に参加して知見を広めたりしながら、研究を進めています。子どもたちが主体的・対話的に学び、考えを深めていけるような授業づくりを目指し、教師力向上をめざす若手自主サークルの有効性を提案します。
②オ	ポジティブな学級づくり ~『強み』をいかして~ 後藤 亜好／春江中学校 塚田 孝子／教育総合研究所
特別活動	どの学級にも在籍する「気がかりな子ども」。そのような子どもたちの自己有用感を高め、クラス全体が互いに認め合えるポジティブなクラスづくりについての実践を発表します。
②カ	RST(リーディングスキルテスト)から見た指導法の改善案 飯田 吉則／教育総合研究所
基礎的読解力	ベストセラーにもなった「AI vs.教科書が読めない子どもたち」の著者 新井紀子氏が開発した基礎的読解力をはかるリーディングスキルテスト(RST)。その結果から分かってきた基礎的読解力向上のポイントを福井県の協力校の受検結果も踏まえながら発表します。
②キ	【高校数学授業改善研究グループ】 数学的活動を通して、知識・技能を身に付け、主体的・協働的に学ぶ生徒を育てる授業研究 谷山 潤也、岡部 孝行、五十畑 直／教育総合研究所
数学	高校数学における「主体的・対話的で深い学び」という視点を踏まえた授業研究の土壌づくりという目的の下、研究協力員の先生方とともに授業研究を進めてきました。「高教研数学部会とタイアップした公開授業」までの授業づくりへの関わり方やその後の振り返りなど、活動の概要と成果・課題について報告します。
②ク	中学校における学校マネジメント マネジメント研修受講者3名、森田 史生／教育総合研究所
マネジメント	「チーム学校」「社会に開かれた教育課程の実現」「働き方改革」のために、より効果的・効率的に学校教育活動を展開していくことが急務になっています。そのための「学校組織マネジメント」と「カリキュラム・マネジメント」。スクールプランの実現に向けて、マネジメントの視点で勤務校の実態を分析し、それを基に立案した具体的なマネジメント実践プランについて、現在各学校で取り組んでいることを発表し、実践型研修の有効性を提案します。
②ケ	高校、特別支援学校における学校マネジメント マネジメント研修受講者2名、福田 浩之／教育総合研究所
マネジメント	「チーム学校」「社会に開かれた教育課程の実現」「働き方改革」のために、より効果的・効率的に学校教育活動を展開していくことが急務になっています。そのための「学校組織マネジメント」と「カリキュラム・マネジメント」。スクールプランの実現に向けて、マネジメントの視点で勤務校の実態を分析し、それを基に立案した具体的なマネジメント実践プランについて、現在各学校で取り組んでいることを発表し、実践型研修の有効性を提案します。

◇ポスターセッション 11:15～12:10 自治研修所大研修室

1	未来社会を創る資質・能力を培う「社会創生プロジェクト」 ～9カ年のプロジェクト学習カリキュラムの開発研究～ 五十嵐 洋行／福井大学教育学部附属義務教育学校
2	「教師の同僚性を構築する研究組織」 ～福井大学教育学部附属義務教育学校における教師の協働研究サイクル～ 森川 禎彦／福井大学教育学部附属義務教育学校
3	学校サポートプログラム普及のための実践研究 垣内 浩、近藤 法江／南条中学校、坪川 美穂／教育総合研究所
4	県外派遣教員が見た福井県の教育力 県外からの派遣研修者
5	【マネジメント研修実践報告】自尊感情を育む教育実践 ～スリンプルプログラムの提案～ 渡邊 衣咲子／嶺南教育事務所
6	小学校におけるプログラミング教育について 飯田 吉則／教育総合研究所
7	思考力と表現力を育む授業づくり ～CLIL(内容言語統合型)アプローチを通して～ 吉田 恵梨、吉田 朋世／教育総合研究所
8	「考え、議論する道徳」への質的転換に向けて支援する研修開発 近藤伸彦、平山由佳、品野由香里／教育総合研究所
9	缶サットを用いたプロジェクト型学習の実践 勝木 知昭、吉村 公彦／教育総合研究所
10	一人一人に応じた学習機会と提供する観点からの遠隔教育 岡部 孝行／教育総合研究所
11	組織マネジメントのあり方について 吉川 喜代江／教育総合研究所
12	チーム支援の在り方について 西畑 千登世／教育総合研究所
13	福井県におけるポジティブ教育の実践 仲野 聡美／教育総合研究所
14	学校サポートプログラム活用事例 ～中学校におけるピア・サポートを取り入れた効果的な活用と手立てに関する実践研究～ 有田 留美子／教育総合研究所

◇講演会 15:00～16:20 大講義室

持続可能な幸福(Well-being)を育む学校づくり

立命館大学 教職大学院 教授 菱田 準子 氏

◇参加申込

別紙 参加申込書にご記入の上、令和2年1月31日(金)までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

FAX 0776-58-2163

福井県教育総合研究所 先端教育研究センター

E-mail sentanken@fec.fukui-c.ed.jp

TEL 0776-58-2162

※参加申込書は、HPからもダウンロードできます。



福井県教育総合研究所

第34回

研究発表会

明日のふくいを拓く
-子どもの「主体的な学び」
を支える教師力-

令和2年

日時

2月14日(金) 10:00-16:20

会場

福井県教育総合研究所・福井県自治研修所

9:30	10:00	11:00	11:15	12:10	12:50	13:35	13:45	14:45	15:00	16:20
受付	研究発表Ⅰ	ポスターセッション	昼食 休憩	教育博物館案内	研究発表Ⅱ	講演会				